



平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月14日

上場会社名 株式会社システム情報 上場取引所 東
 コード番号 3677 URL <http://www.sysj.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松原 春男
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)作間 栄 (TEL)03(5547)5705
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	995	—	56	—	44	—	26	—
25年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	10.09	9.30
25年9月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、第1四半期の業績開示を平成26年9月期より行っているため、平成25年9月期第1四半期の記載及び平成26年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第1四半期	1,973	1,072	54.3
25年9月期	1,716	698	40.7

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 1,072百万円 25年9月期 698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正 : 無

2 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,170	—	150	—	136	—	76	—	28.01
通期	4,500	6.4	350	1.2	336	△0.5	188	0.7	67.24

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、平成25年9月期第2四半期の財務諸表を作成しておりません。このため、平成26年9月期第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年9月期1Q	2,870,900株	25年9月期	2,170,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年9月期1Q	—株	25年9月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年9月期1Q	2,592,853株	25年9月期1Q	—株
----------	------------	----------	----

(注) 当社は、第1四半期の業績開示を平成26年9月期より行っているため、平成25年9月期第1四半期の期中平均株式数を記載していません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当第1四半期累計期間におけるストック・オプションの権利行使により、発行済株式総数が210,900株増加しております。「3. 平成26年9月期の業績予想」の1株当たり予想当期純利益の算出につきましては、当該増加分を含めて計算した予想期中平均株式数に基づき算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、一連の金融・財政政策の効果が現出、円安・株高の進行とあいまって企業収益が改善、内需の底堅さにも支えられ景気が回復軌道に乗ることが大いに期待されています。一方、平成26年4月からの消費税増税による消費マインド減退や円安進行による原材料費の上昇も避けられないことから景気の下振れ懸念を払拭できないでいます。

かかるマクロ環境下、当業界におきましても景況感の回復を背景に、業務の多様化に対応するシステム開発の引き合いに増勢の動きが見られるものの、企業間競争の激しさに変化は無く、当社も引き続き厳しい市場環境下での事業展開を余儀なくされました。

当社は、事業環境の好転を売上の拡大に繋げるべく、最高位のレベル5を達成したCMMI®(注1)や当業界で高い取得率を誇るPMP®(注2)をベースにした当社独自のシステム開発標準「SICP」に裏打ちされたプロジェクト管理力の強さを全面に打ち出し、積極的な営業活動を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高995,188千円、営業利益56,772千円、経常利益44,272千円、四半期純利益26,156千円となりました。

なお、平成25年9月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との対比については記載しておりません。また、当社は、単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(注1) : CMMI® ソフトウェア開発能力を評価する国際標準的な指標、米国カーネギーメロン大学のソフトウェア工学研究所が開発したモデル。

(注2) : PMP® 米国PMI(Project Management Institute)が認定する個人のプロジェクトマネジメントに関する国際的な資格。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末と比べて、205,850千円増加し、1,658,826千円となりました。これは主に売掛金が171,720千円減少しましたが、現金及び預金が238,232千円、仕掛品が111,492千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べて51,686千円増加し、315,163千円となりました。これは主に投資その他の資産が51,456千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末と比べて、120,271千円減少し、616,330千円となりました。これは主に未払金が141,361千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べて、4,144千円増加し、285,122千円となりました。これは主に退職給付引当金が6,844千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度に比べて373,663千円増加し、1,072,535千円となりました。これは主に、公募増資、第三者割当増資、ストックオプションの権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ177,326千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の業績予想につきましては、平成25年11月14日に公表いたしました平成26年9月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の見直しの必要性が生じた場合は、速やかに「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	808,638	1,046,870
売掛金	594,642	422,922
仕掛品	7,227	118,719
前払費用	18,785	25,400
繰延税金資産	20,827	20,827
その他	2,853	24,086
流動資産合計	1,452,975	1,658,826
固定資産		
有形固定資産	24,243	23,727
無形固定資産	4,529	5,274
投資その他の資産		
その他	237,404	288,860
貸倒引当金	△2,700	△2,700
投資その他の資産合計	234,704	286,160
固定資産合計	263,476	315,163
資産合計	1,716,452	1,973,989
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,223	286,825
短期借入金	45,000	45,000
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	44,736	27,720
未払金	157,600	16,239
未払法人税等	96,028	20,406
賞与引当金	8,559	38,643
工事損失引当金	—	28,964
その他	104,453	138,531
流動負債合計	736,601	616,330
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	2,700	—
退職給付引当金	248,277	255,122
固定負債合計	280,977	285,122
負債合計	1,017,579	901,453

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	108,500	285,826
資本剰余金	15,200	192,526
利益剰余金	565,034	580,340
株主資本合計	688,734	1,058,694
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,138	13,841
評価・換算差額等合計	10,138	13,841
純資産合計	698,872	1,072,535
負債純資産合計	1,716,452	1,973,989

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	995,188
売上原価	798,064
売上総利益	197,123
販売費及び一般管理費	140,351
営業利益	56,772
営業外収益	
受取利息	17
受取配当金	249
その他	809
営業外収益合計	1,075
営業外費用	
支払利息	357
支払手数料	357
株式公開費用	12,000
株式交付費	514
その他	346
営業外費用合計	13,576
経常利益	44,272
税引前四半期純利益	44,272
法人税等	18,116
四半期純利益	26,156

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年10月21日を払込期日とする一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行により、資本金及び資本金がそれぞれ136,160千円増加しております。

また、平成25年11月22日を払込期日とする第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ30,636千円増加しております。

これらの要因により、当第1四半期会計期間末において資本金が285,826千円、資本準備金が192,526千円となっております。